

病理専門医制度運営委員会だより（第 21 号）

1. 専門医受験資格審査について（再掲）：

来年度の専門医試験願書は、2020 年 4 月末が締め切りとなる予定です。例年のことですが、願書提出者の 4 人に 1 人くらいの割合で書類の不備などが指摘され、不備の補填など再提出が求められています。不備になりやすい項目について説明させていただきます。

- ・研修手帳（病理専門医研修ファイル）：毎年度ごとの指導責任者による評価が必要です。「病理専門医研修ファイル」への評価と認証捺印及び日時記載を確実にお願いします。捺印や日付記載がないため、一旦返却となる事例が毎年数件発生しています。なお、評価方法についてはカリキュラム制度で採用された方も同様、年度ごとの評価をお願いします。
- ・受験に必要な講習会：「剖検講習会」、「病理診断に関する講習会（病理学会病理診断講習会、国際病理アカデミー主催の講習会など）」、「細胞診講習会（日本臨床細胞学会細胞診専門医有資格者は不要）」を確実に受講して受講証明書が研修手帳に貼付されていることの確認をお願いします。加えて 2015 年 4 月からの専門研修開始者は「分子病理講習会」の受講も必須となっていますのでこちらも忘れなく。分子病理講習会は病理学会総会時のもの以外に病理学会カンファレンスもしくはゲノム病理標準化講習会（2018 年度開催分より）の出席でも認められます。いずれにしても受講証明書の貼付を確認してください。

剖検講習会は春の総会時に開催されていますが、受講には受講料（1,000 円）が必要です。受講者は事前に病理学会 HP に掲載される「剖検講習会について」を確認してください。講習会当日には HP に掲載されている課題に対する回答レポートの提出が必要です。レポートは 2 部印刷して持参し、1 部は会場で入場の際に専用受付で提出してください。レポートと引き換えに受験資格用の受講証をお渡しします。もう 1 部は聴講時の勉強用です。当日受付に印刷機器はありませんので、必ず事前に印刷しておいてください。提出用のレポートには、① タイトル「〇〇年度剖検講習会課題レポート」、② 日本病理学会会員番号、③ 氏名、④ 課題の 4 項目の記載をしてください。なお、剖検講習会はすでに専門医資格保有者も聴講可能（病理領域別講習会として単位付与対象）のため、「受験者・課題提出」の方と「専門医資格保有者」の方を別々の会場入口から入場していただいております。それぞれ手渡される受講証明書が異なるため、受験予定の方は「受験者・課題提出」の入口から入場し、剖検講習会受講証明書を受け取ってください（横長の証明書です）。手札サイズ縦長の「病理領域別講習受講証明書：剖

検講習会」は、受験資格の証明書にはなりませんので、ご注意ください。

分子病理講習会は総会以外に上述の病理学会カンファレンスもしくはゲノム病理標準化講習会という受講機会が設けられています。対象となる講習会は病理学会 HP の専門医＞専門医試験必須講習会に掲載されています。

死体解剖資格は厚生労働省医道審議会で認定されるものですが、2018 年度より主執刀 20 例かつ第一例から 2 年以上の経験が必要となりました。この資格審査には例年日数を要することが多いため、受験予定者は資格ができた時点で直ちに申請をしてください。なお、死体解剖資格や病理専門医受験のための解剖症例は、病理専門医研修開始後の症例だけが対象となります。初期臨床研修期間の症例はこれらには使うことができません。

- ・病理解剖報告書：30 例（2014 年以前の研修開始者は 40 例）の剖検報告書の写しが必要で、これには本人と指導医のサインが必要です。主診断医が診断者名の筆頭にあることが望ましいのですが、施設（システム）により執刀医や診断医が不明瞭な病理解剖報告書があります。自施設の剖検報告書を確認し、もし主診断者や執刀医が筆頭にきていない報告書であった場合は、指導責任者による一筆（申請者が執刀し診断したことを保証する文書）をお願いします。
- ・術中迅速診断報告書：50 例が必要です。この写しには本人のサインが必要です。こちらも剖検報告書と同様、施設により主診断医が不明瞭な術中迅速診断報告書があるので、その場合も指導責任者による一筆（申請者が主に診断したことを保証する文書）をお願いします。
- ・人体病理学の業績：3 編以上が必要ですが、3 編中 1 編は論文でなければいけません。論文は本学会が発行している診断病理や Pathology International（PI に関しては Letter to the Editor も可）以外に、適切なレビューシステムのある病理関連の国際雑誌であれば認められます。また病理関係の雑誌でない場合でも、適切なレビューシステムのある雑誌であり、かつ論文の主旨に病理診断が関係し、病理診断に関する写真（図）があれば認められます。ただし国内誌で大学や病院など施設単位の紀要レベルのもの、都道府県単位の地方誌レベルのものは原則として対象外となりますのでご注意ください。いわゆるハゲタカジャーナルについては今後検討していく予定ですが、現時点でも遠慮していただく方が確実です。なお、掲載雑誌が受験資格として適切かどうか判断が難しい場合は、事前に病理学会事務局にご相談ください。また業績 3 編のうち 1 編は受験生本人が筆頭でなければなりませんが、これは学会発表でも可です。発表は地方会も可ですが、その対象となる会は病理

学会の単位付与が認められているものに限られます。

以上のことを踏まえて、願書の提出前に指導責任者の確認をお願いします

- ・研修手帳への認証捺印と日時記載。
- ・各種受講証。特に剖検講習会受講証明書が受験者向けのものか。
- ・病理解剖報告書の写しへの本人と指導医のサイン。
- ・術中迅速診断報告書の写しへの本人のサイン。
- ・必要に応じて病理解剖報告書や術中迅速診断報告書が本人のものである証明（指導責任者の一筆）。
- ・業績が適切か。

2. 病理専門医資格更新について：

少し早いですが2020年秋の更新審査にむけてのお知らせです。2020年から学会認定専門医更新はなくなり、専門医機構認定専門医だけになります。更新に際しては各種単位が必要となりますので、今のうちにご自身の保有単位を確認し、不足分は今後行われる共通講習や病理学会（支部会含む）の領域別講習の受講を行い、単位に不足がないようにしてください。以下に昨年度までの更新手続きで、複数名の先生方で指摘された問題点を説明します。

- ・診療実績：5単位以上必要です（最大10単位まで）。病理組織診断は100例で1単位、術中迅速診断は10例で1単位、剖検・CPCは1例1単位で計算されます。審査の都合上、できれば剖検・CPCのような単位の大きい診療実績で提出していただけるとありがたいです。診療実績が不足している場合は病理学会HPの生涯学習受講実績の提出で振り替えることも可能です。一定の得点に達しますと受講証明書が発行され、これは3単位として計算されますので、これで不足分を補ってください。
- ・診療実績（これまで連続3回以上の更新を行った方向け）：今回は4回目以降の更新の方は診療実績が不要となりますが、代わりに病理学会HPの生涯学習受講実績の提出が必須となります。生涯教育を受講して一定の得点に達しますと受講証明書が発行されますので、これを提出してください。なお、診療実績として症例を出していただいても構いません。
- ・専門医共通講習：専門医機構による専門医更新には共通講習の受講（3単位以上、最大10単位まで）が必要です。この3単位うち「医療安全」「医療倫理」「感染対策」の各1つずつは必修です。これまでの更新ではこの3つのうち「医療倫理」の単位が不足している方がいました。「医療安全」や「感染対策」に比べ、受講機会が少ないためと思われますが、「医療倫理」も確実に受講しておいてください。なお、医療倫理については「研究倫理」の講習会でも認められますので、特に大学など研究機関に勤務されている方はこの講習会の受講証明書を大切に保管してください。

2017年度までは共通講習については病理学会より認定されている施設（認定施設と登録施設、今後は基幹施設と連携施設）で行われたものでも代用可能です。この場合は施設長が発行した受講証が必要となります。各施設における受講証明書は専門医機構が見本を示した書類に準じたものにしてください。特に、講習会の時間が未記載の証明書が出てきた場合は、対応に苦慮しますのでご注意ください。2018年度以降は各施設による共通講習開催のハードルが高くなっています。事前に専門医機構に講習会の登録を申請し、許可の下りた講習会だけが単位の対象となっていますので、詳しくは専門医機構のHPで確認をお願いします。時に共通講習と紛らわしい受講証明書が発行される時があります。2018年度以降は専門医機構によって認定された共通講習は必ずコードが入りますので、コードのない受講証明書は更新単位として認められませんのでご注意ください。

- ・病理領域講習（20単位以上）：病理領域講習会受講証明書は各講習会の会場で配布されますので、**専門医番号と氏名を記載**したうえで更新時まで各自で確実に保管してください。無記名のため書類再提出の方が毎年数名いらっしゃいますが、再提出となりますのでご注意ください。単位証明添付用紙に貼付していただく際には、すべての証明証に専門医番号と氏名が記載されていることが確認できるようにしてください。重ねて貼付した場合、氏名などが確認できないことがありますのでご注意ください。用紙に直接貼付せず、封筒などにまとめて入れていただいても構いません。病理領域講習の単位が不足している場合は、学術業績・診療以外の活動実績（学会発表や論文、査読など）の一部を振り替えることも可能です。また2019年6月に開始された「希少がん病理診断画像問題・解説（eラーニング）」も領域講習講習の単位となります。「希少がん病理診断画像問題・解説（病理学会希少がんHP）」を受講し一定の得点に達しますと病理領域講習の単位が付与されます（最大15単位）。専門医更新書類提出時には、システム上の単位を印刷・添付するなどの手続きが不要となり便利です。
- ・学術業績・診療以外の活動実績（0～10単位）：学術集会参加による単位の上限は5年間で6単位までです。それ以上出していただいても、6単位までしかカウントできません。不足分は学会発表、論文報告、学会座長、学会誌査読などで補ってください。これらも証明できる文書（コピー可）が必要ですので、貼付をお忘れなく。学会の参加証は必ず記名したもので、かつ名札部分と領収書部分を切り離さずに提出していただく必要があります（コピーも可です）。
- ・専門医広告：本文執筆時点でもまだ専門医機構専門医はまだ医療法上の広告可能専門領域になっていません。全領

域で専門医システムが順調になった時点では広告可能になると思われますが、現時点の対応として専門医機構で更新された方は自動的に病理学会での認定更新もされることになり、認定更新シールを配布して対応しています。

- ・秋に向けて病理学会の資格更新手続きや専門医資格更新ガイダンスの改定を行いますので、確認のほど宜しく願います (<http://pathology.or.jp/senmoni/index.html>)。

以上のことを踏まえて、更新書類の提出前に確認をお願いします

- ・診療実績は足りているでしょうか。過去3回以上連続で更新された方は不要ですが、その代わり生涯学習受講実績の提出が必須です。
- ・共通講習、特に「医療倫理」は受講済みでしょうか。
- ・2017（平成29）年度までに施設内で行われた共通講習の受講証は専門医機構の見本に準じたものでしょうか。
- ・学術集会以外での共通講習受講証明書に専門医機構のコードが入っているでしょうか（2018年度以降）。
- ・学会参加証や各種講習会受講証明書への記名はされているでしょうか。
- ・「希少がん病理診断画像問題・解説（e-ラーニング）」も領域講習講習の単位となり（最大15単位）、書類提出時に便利です。
- ・学術集会参加による単位の上限は6単位までです。

3. e-learning について

2019年6月20日より、病理専門医更新のための新たな単位付与（e-ラーニング：領域講習単位）が開始となりました。職場あるいは自宅でも学習可能で、専門医更新のための領域別講習の単位になり、かつ取得単位は病理学会会員システムの「単位」欄に自動的に反映されるため、専門医更新書類提出時には、システム上の単位を印刷・添付するなどの手続きが不要です。是非「希少がん病理診断画像問題・解説（e-ラーニング）」をご活用頂き、日常診療および希少がんの病理診断力の向上にお役立て下さい。詳細は以下になります。

- ・「希少がん病理診断画像問題・解説（病理学会希少がんHP）」を受講の際に病理領域講習の単位を付与します。
- ・専門医更新に必要な領域講習単位のうち15単位までが、本e-learningで取得可能になります。
- ・現在は脳腫瘍・骨軟部腫瘍・小児腫瘍で全32コース（1コース：10問）が用意されています。
- ・8割（8問）以上の得点で合格となり、1コースにつき領域講習1単位が認定されます。
- ・8問以上をクリアするまで何度でも繰り返し受講することができます。
- ・取得単位は病理学会会員システムの「単位」欄に自動的に反映されます。
- ・専門医更新書類提出時には、システム上の単位を印刷・添

付するなどの手続きは不要です。

- ・希少がん診断のための病理医育成事業ホームページ下の「コース」から、UMIN ID/password を用いてログインし、履修することができます。

<https://rarecancer.pathology.or.jp/>

- ・UMIN ID は支部事務局あるいは事務局にお問合せ下さい。
- ・UMIN password に関しては、病理学会では把握しておりません。問い合わせ等は下記アドレスをお願いいたします。パスワード再発行申請も下記より可能です。

https://center2.umin.ac.jp/cgi-open-bin/shinsei/tanto_list.cgi

4. 専門医制度について：

プログラム定員の上限設定（シーリング）については現時点でもまだ流動的です。とはいえ、病理を含む6領域（他は臨床検査、外科、産婦人科、救急科、総合診療）に関してはシーリング対象外となっており、もともと定員の少ない病理領域については当面シーリング対象から外れると予想しています。しかしながら、専門医機構のシーリング案に意見をもつ関係団体も多く、専門医機構としては厚労省の部会と折衝をしているところです。状況がわかり次第、HPなどで情報を開示しますので、皆様にはHPのチェックをお願いします。なお、今進められているシーリングは、基本データとして三師調査（2年ごとに年末に行われる医師・歯科医師・薬剤師の勤務状況調査）、将来人口予想、DPCデータなどが用いられ、厚労省によって綿密に作られています。ただ、三師調査によると病理診断科を主としている医師数は、病理学会で想定している数値と食い違いがあり、この数値を基に計算されると不都合が生じる可能性があります。次回の三師調査の時には正確な記入を心がけていただくよう、お願いします。なお、シーリングが今後病理領域まで及んでくるのか、今のところ状況は不明瞭です。とはいえ、専攻医採用に関して遠慮することはなく、これまでと同様、指導に当たる先生方には積極的な勧誘活動をお願いします。各プログラムの定員についてもこれまで同様の柔軟な判断をさせていただきたいと考えております。

前回までもお知らせしてきましたが、カリキュラム制度による採用が昨年度より緩和されています。すでに他の基本領域の専門医資格（内科の場合は認定医も含む）所有者（病理専門医とのダブルボード取得を目指す方）だけではなく、妊娠・出産・育児・介護・本人の疾病などでもこの制度を使うことが可能です。今後は事情によってはプログラム制で採用された専攻医のカリキュラム制への移動も可能になるかも知れません。ただし、カリキュラム制の方もプログラム制の方と同様に、専門医機構への専攻医登録を行い、システム上で採用していただく必要があります。また病理学会入会後に研修届を提出し、研修手帳を受け取ってください。カリキュラム制度で採用する場合でも原則として教育資源（特に剖検数と指導医数）の確実な確保は必要です。

5. 専門医試験の会場について：

これまでも説明してきましたが、2020年の東京オリンピック開催を考慮して、2020年は近畿支部で行われます。これまで神戸大学での開催を予定していましたが、受験生が120名強になると予想されるため、試験で使う顕微鏡の台数が確保可能な大阪大学（医学部と歯学部を利用予定）で行われることになりました。

大阪大学は新大阪駅や大阪駅（梅田駅）から乗り換えを含め多少時間を要しますので、予め時間に余裕をもってください。また試験日は大阪の天神祭りと日程が重なるため、大阪市内、特に梅田・天満のキタからミナミの難波あたりまでは宿泊施設も予約が取りにくくなることが予想されますので、できるだけ早くにご予約いただくようご注意ください。宿泊は新大阪駅、大阪空港周辺、江坂駅、千里中央駅近辺が便利かと思います。茨木駅からバス利用という手段もありますが、受験のある日曜日は便数が極端に減るため、このルートはお勧めできません。

2021年と2022年は関東支部の施設で行う予定です。

6. 分子病理専門医認定制度について

試験要項の公示は2020年4月1日を予定しておりますが、現時点で決定していることを簡単にご案内いたします。

1) 第1回分子病理専門医試験出願資格：

- (1) 日本病理学会会員であること
- (2) 出願時に病理専門医であること
- (3) 申請年度までの年会費を完納していること

2) 出願時提出書類：

- (1) 分子病理専門医試験願書
- (2) ゲノム病理標準化講習会 受講修了証（複写可、1回）
*対象講習会：2018年10月7日、2019年2月17日、
2019年度開催分、2020年度開催分
- (3) 分子病理専門医講習会 受講修了証（複写可、1回）
- (4) エキスパートパネル参加証明書（複写不可、3回以上）
・がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療拠点病院開催のもの
・上記施設のエキスパートパネル責任者あるいは暫定分子病理専門医のサイン（自署）が必要

3) 分子病理専門医試験日程

- (1) 試験要項の公示予定日：2020年4月1日
- (2) 出願期間：2020年9月1日～9月30日（消印有効）
- (3) 受験手数料：40,000円（資格審査料10,000円 試験料30,000円）
- (4) 試験日：2020年12月20日（日）
- (5) 試験会場：TOC有明コンベンションホール4階
（〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7）
- (6) 資格認定料（分子病理専門医認定者）：10,000円
- (7) 認定証交付日：2021年（令和3年）4月1日

4) エキスパートパネル参加に関して

- (1) がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療拠点病院にて開催されたものに限る
- (2) 医療従事者を広く受け入れている施設があります。参加に関しては主催している各施設に直接に確認、相談のこと（病理学会事務局では把握しておりません）。
- (3) TV会議等、WEB参加の場合は、郵送等にて中核拠点病院や拠点病院のエキスパートパネル開催責任者または暫定分子病理専門医の署名（自署）をもらうこと（3回分まとめてでも可）。

分子病理専門医関係の情報は下記ホームページに掲載いたします。

<http://pathology.or.jp/senmoni/bunshibyouri.html>

7. 今後の日程について：

- ・希少がん診断のための病理医育成事業で行っている希少がん病理診断講習会は、各支部開催と本部開催がありますので、日程や会場はHP（<https://rarecancer.pathology.or.jp/>）でご確認ください。
- 希少がん病理診断講習会は、病理専門医資格更新の病理領域講習として認定されております。また、病理専門医受験のための「病理診断に関する講習」の対象となっています。
- ・2019年ゲノム病理標準化講習会は、2020年2月1日（土）に大阪で開催いたします。本講習会の聴講生には病理専門医更新のための病理領域講習4単位が付与されます。また、病理専門医認定試験の受験資格である「分子病理診断に関する講習会」の1つとしても認められます。
- ・2019年度の細胞診講習会は2020年2月8-9日に京都大学で開催されます。
- ・2020年度の剖検講習会は、4月16-18日の病理学会総会（福岡市）で行われますが、詳細な日程は未定です。病理学会総会では分子病理講習会も行われます。福岡総会のホームページでご確認ください。
- ・2020年度の病理専門医試験は7月25-26日に大阪大学医学部で行われます。

（文責：森井英一・大橋健一・村田哲也）

==特集①=====

最近ほまっていること

札幌医科大学附属病院 病理診断科 辻脇 光洋

一緒に仕事をしたことがある先生からの依頼でしたので、趣味を把握されていたものと思います。ほまっていることの1つ目はバドミントンです。最近はテレビ観戦が主体で自分がプレーする機会は減りましたが、たまに後輩の練習相手になっています。東京オリンピックを目前にして、バドミントンは男女の単・複、混合複の全ての種目で優勝候補に挙げられるような

りましたので、スポーツニュース等で取り上げられることも増えました。私が始めた30年近く前には、ニュースで結果が伝えられることや試合の様子が放送されることはほぼなく、今のようテレビで日本のトップ選手の試合を見られるのは幸せだと感じています。いくつか申し込んだ東京五輪のバドミントン観戦チケットは全て外れましたが、代わりに奮発して有機ELテレビを購入したので、録画して好きな時間に涼しい場所で試合を見ようと思っています。

この原稿を書いている途中で、自分が中学生の頃にトップ選手だった水井紀佐子さんのお嬢さんが今年のインターハイに出場していたのを思い出し（現日本代表のB代表）、改めて年を取ったのだと実感しています。

さて、もう一つは車でしょうか。私が車を選ぶ際に重視しているのは、長時間のドライブでも腰が痛くなりづらいシートであること、凍結路面でも安定して走れる性能を有していることの二点です。中学生のころに外傷性椎間板ヘルニアを発症し、手術後の今でも姿勢や負荷のかけ方によって痛みが強くなることから、腰が痛くなりづらいシートは必須です。北海道という地域性もあり、一年の三分の一は凍結・積雪路面と付き合わなければならないので、その状態でも安心・安全な車をと、もっともらしい理由をつけてドイツ車に乗っています。今はオリンピック間近ということもあり（関係ありませんが）、五つの輪からなるオリンピックシンボルに一番近いメーカーを選んでいきます。気に入っている部分は、上記に加えてエンジン音が良いことと優れた動力性能、というかむしろそっちで選んだでしょうと妻には言われています。

そんな私ですが、最近良さそうだなと思っているのはミニバンです。自分一人や妻とドライブならば今の車で十二分ですが、子どもがいるとなると、スライドドアで後部座席が広いのはうらやましいです。

最後になりましたが、一番はまっているのはやはり家族です。なんでも「どうして？」と尋ねる娘と、話しかけるとカットしたスイカのように口をあけてニコッと笑う息子、育休中で子どもの世話をメインにしてくれている妻。大変なこともあります。が癒やされることも多く、日々の暮らしが色鮮やかになっています。

旅行の楽しみ

帝京大学医学部病院病理部 笹島 ゆう子

旅は準備して楽しく、行って楽しく、思い出してまた楽しい。

寛容な上司や同僚のおかげで、このところ年に数回に旅に出る。エジプト、ロシア、南アフリカ、イスラエル、ネパール、ウクライナなど「どうして？」と言われるようなところに行くのが好みである。

旅の準備として、その国や地域に関する本を読む。エリア・スタディーズの「〇〇(国名)を知るための●章」はもちろん、

それだけでは盛り上がらないので、小説やエッセイなどにも手を付ける。タイ行きの前には三島由紀夫「暁の寺」、トルコ行きの前には塩野七生「コンスタンティノープルの陥落」、和多利月子「明治の男子は星の数ほど夢を見た」等々。北欧史では同じような名前の国王がたくさん出てきて混乱し、ウクライナの時には、モンゴル帝国やリトアニア公国、ロシアやソ連の支配下で翻弄されてきた複雑な歴史に心を痛めた。イスラエルの時にはドレの旧約聖書を読了したところで力尽き、新約のほうでは中野京子「名画と読むイエス・キリストの物語」でお茶を濁してしまった。

旅先では必ずその国の言語で書かれた本を買う。南アフリカでは公用語の一つアフリカーンス語の料理レシピ本を入手した。最初の宗主国であったオランダ語をベースに、その後の征服者の言語や奴隷として連れてこられた民族の言葉などが混ざり合った言語である。少しドイツ語にも似ているのと写真入りなのでなんとなく理解できるのが面白い。イスラエルではヘブライ語の聖書、アイスランドでは村上春樹を数冊。もちろん全く読めない。最近サン＝テグジュペリ「星の王子さま」を買うことが多い。どこの国の書店でも必ず置いてあり、聖書を除けばおそらく世界で最も翻訳言語の多い物語だろう。ネパールの雑貨屋で見つけたのを皮切りに、スウェーデン語、デンマーク語、ウクライナ語、ベラルーシ語、トルコ語、ウズベク語が揃っている。最後のウズベク語は、ある旅行社の添乗員が買ってきてくれたものの。この秋ウズベキスタンへの旅行を予定していたのを諸事情にて直前キャンセルしたのだが、事前に「星の王子さま」を集めていると知らせていたのを覚えていてくれた。

旅の戦利品は、職場の棚の一部に展示している。中央を陣取るのはロシアのマトリョーシカで、入れ子になっている10個の人形が大きさ順にずらりと並ぶ。ロイヤルコペンハーゲンのイースターエッグ、ペトラ遺跡の露店で買った砂絵壺などが脇を固める。PCのスクリーンセーバーももちろん旅の写真のスライドショーである。アイスランドで見たオーロラ、ドーバー海峡の白亜の岸壁、ナイルの夜明け、雪のヒマラヤ、喜望峰の紺碧の海……何度思い出しても楽しい。

寛容な上司は3月に退任となる。その後もこのペースで旅行に行けるかどうかは私の頑張り次第だと妙な意味で気を引き締めているこの頃である。

私が今、ハマっていること～あなたの知らない世界

静岡県立総合病院病理学部 草深 公秀

と言うお題を頂きましたので、この際、カミング・アウトしますと、私は病理医であると同時にK2名義で「ノイズミュージック」を演っています。ノイズミュージック？とは聞き慣れない音楽ジャンルとは思いますが、90年代にはJapanoiseという造語が誕生した程、日本のノイズミュージックは世界的に評

働かれています。私自身は大学生の時（80年代初頭）からノイズミュージックを作曲・録音・販売を行っています。第一期 K2（1981～1983）は実験の場、第二期 K2（1993～2002）はメタル・ジャンクを用いたカット・アップ・ノイズ、そして今は第三期 K2（2005～）で、純粋電子音によるノイズミュージックを作製し、多量の作品を国内外のレーベルから出しています（150 作以上、論文数より多い！）。ここまできて「何の話か分からん！」と思う人が大多数だと思いますが、我慢して下さい。機材なのですが、これは本来の奏法や使用法、非楽器を誤用することで、聴いたこともない音を出し、それを構築していく訳です。また、ノイズミュージックという大音量の雑音を思い浮かべるとは思います、音響系という静謐で、繊細なサブ・ジャンルや環境音を切り貼りするコラージュと言うものもあります。私 K2 は、最近はモジュラー・シンセにハマっており、ようやく機材をコントロールできるようになりました（1 年で 100 万注ぎ込んだ）。ライブ（図 1）も年に 4～5 回ですが、東京や名古屋、静岡で行っておりますので、気になる方は観に来て下さい。あと、この話をするといつも訊かれるのは、「楽譜ってあるの？」です。正直、無いです。全部即興ですが、センスは重要です（病理診断と同じ）。病理学会にはオケがありますが、私の夢は病理学会のノイズ・バンドを作ることです（笑）。気になった方は下記のサイトで試聴して頂くか（買ってもらえると更に嬉しいです）、YouTube で“K2, noise”で検索してもらうと、私がどんな音楽を演っているか少しは分かると思います。万人には受け入れられないとは思いますが、興味のある方だけで結構です。なお、本業は唾液腺腫瘍病理ですので、随時コンサルトをお受けしております。

最後に一言、“Pathology and noise are my life”。

デジタル配信サイト

<http://k2music3.bandcamp.com/album/>



図 1：K2 live at Kyoto “Soto（外）”, Jul. 13, 2019.
K2 played the modular synthesizer and semi-modular synthesizers.

病理と料理

大阪大学大学院医学系研究科 病態病理学講座

田原 紳一郎

独身のときから料理は割とよくしていたが、結婚後共働きであることもあり、今でも料理をすることは多い。「私の仕事は病理です」というと、「料理」と聞き間違えられた、という有名なエピソードがあるように、病理と料理は通じているところがあるのかもしれない。たしかに切り出しをすることで包丁の使い方がうまくなった、と感じるのは私だけではないと思うが、私の感覚では料理は「病理診断」よりも「実験病理」に近い。事前の準備とシミュレーションが大切であること、手を抜いてはいけないところと省いても良いところを見極めて効率よく進めていくこと（これは私のボスから常に言われる）、蒸し野菜などの半調理品（実験でいうキット）を購入すると調理（実験）時間が大幅に節約出来ること、などが似ている。異なる点といえば、実験は失敗すれば納得いくまでやり直せば良いが、料理は失敗したからといって無下に捨てるわけにはいかない。そういう意味では料理の方が厳しい世界なのかもしれない。

基本的に自分用のメニューを 2 人分用意するだけのいい加減な料理生活を送っていたが、3 年前に息子が生まれたことにより状況は一変した。それまでは「今日もおいしい鍋」とか言って週 2 で鍋をしたり、スーパーで半額のお寿司を買ってきたりすることも多かったが、息子が離乳食を終えるとそうも言っていられない。カレーや麻婆豆腐は子供用に味付けを変えないといけない、かといってレトルト食品しか食べられない子供になっても困る。悪戦苦闘する日々が始まった。

さて、本稿の依頼を受けたのは実りの秋の季節である。月に 1 回届く知育教材を見ていた 3 歳の息子は「芋掘りがしたい」と言い出した。8 本のさつま芋を持って帰ってきた。すぐにインターネットで保存法を調べる。なるほど、芋掘りの芋はすぐに食べずに干して熟成させた方が良さらしい。新聞紙に包んで玄関に置いておくと食べ頃になった。8 本のうちの多くはスーパーでは決して売っていないような小さな芋である。非常に調理が面倒臭そうだ。悩んだ末に、スライスして素揚げにすることにした（普段は片づけが大変なので揚げ物は減多にしない）。おやつに 2 回ほど食べさせた。彼は「おとうさんとほったいもー、おいしいー」などと自作の歌を歌いながらご機嫌で食べていた。芋は残り 2 本になった。あと 1 回素揚げにしたら終わりかな、と安心してた矢先、どこで知ったのか彼の次の言葉に私は耳を疑った。

「あつあつスイートポテトがたべたい」

最近ハマっていること

和歌山県立医科大学病理診断科 岩橋 吉史

病理の世界に飛び込んで 9 年目、そろそろ中堅どころと呼ば

れる年数ですが、諸事情にて少々時間を費やし、ようやく今年専門医試験に合格しました。

今回、「最近ハマっていること」とのテーマで原稿のご依頼をいただきました。名もない実績もない人間の趣味に誰が興味あるねん！と自分自身にツッコミたくもなりましたが、このような貴重な機会を逃す手はないと思い直し、気軽な気持ちで語らせていただきます。

私の趣味はフットサルです。小さいころからサッカーが好きで、大学に入ってから社会人チームでフットサルを始めました。タイ（アジアではフットサル強豪国）へ試合の遠征に行くなど学生時代は存分にフットサルを楽しみましたが、就職してから熱が冷めるどころかますます過熱し、フットサルの勉強会に参加したりコーチのライセンスを取ったり、隙あらば全国に足を運んでいます。競技レベルを向上するにはまずはカラダそのものに向き合う必要があると考え、筋力トレーニングの勉強も本格的に始め、これまた勉強のためつついっあちこちに行ってしまうです。

今は和歌山県1部リーグのチームに属しており、選手兼コーチとして、関西リーグへの昇格を目指し日々トレーニングに励んでいます。自分の職業は何なのか、時々わからなくなることがあります。こんなことではいち社会人としてダメではないのかと思ひ悩む時期もありましたが、こんなに打ち込めることがあるのは幸せなことだ、と開き直る段階まで来てしまいました。患者さんの急変などがなく、時間に都合をつけやすい病理医の特性を存分に生かしており、ありがたい限りです。

仕事より趣味を優先する、とんでもなくダメなヤツなんじゃないかと思われそうですが、病理の仕事そのものは大好きです。学生実習の時、「こんな楽しいことを仕事にしてもいいのか」とこの上ない喜びを感じながら、「病理に入ります！」と宣言したことを今でも鮮明に覚えています。好きな臓器は乳腺と皮膚で、特に汗腺系腫瘍にハマっています。

と、一応弁明させていただきました。

趣味に没頭し自分のことしか考えてこなかった人生でしたが、そんな僕にも子どもが生まれました。最近何よりもハマっているのは子育てです。子育て、と堂々と言えるほど何も出来ていませんが、我が子と過ごす時間が何よりも楽しく、大切な時間です。今もこの文章を打つパソコンを横から子どもが触って邪魔してきますが、その様子もかわいくてたまりません。ようやく意識が自分から自分以外の大切な人間に向くようになり、ちょっとは人間として成長できているのかな、と感じています。

最後に、写真を1枚載せていただけるとのことで、かわいい娘の写真を載せたかったのですが、妻が難色を示したため、私のトレーニング姿をご覧くださいませ。



五十の手習い

吉野川医療センター臨床検査科 佐竹 宣法

近所のカルチャーセンターの三味線教室に通うようになって2ヶ月余りが過ぎました。この三味線教室は阿波踊りのお囃子、「ぞめき」の演奏ができるのを目標に開講されていて、僕を含め8人の生徒さんが通っています。

大学入学時に始めたチェロは途中ブランクがあったものの30年を超え、今は病理医を中心に結成された「日本病理医フィルハーモニー」で、全国各地の仲間と楽しく演奏しています。昨年日本病理医フィルハーモニーの仲間達と間奏部分に阿波踊りの「ぞめき」をアレンジしたアニメ曲を演奏する機会があり、お客様に好評でした。最近の阿波踊りは太鼓と鉦の高音量が幅をきかせ、三味線が奏でる阿波踊りのメロディーが埋もれてしまい、常日頃残念に思っていました。心の片隅に置いてあった「阿波踊りには三味線で参加したい」という気持ちが湧き上がってきて、最終的にはチェロを弾けるのだから、同じ弦楽器の三味線なら弾けるだろうという安易な考えが僕の背中を押しました。週一回三味線教室に通いつつ暇を見つけて自宅で練習もしていますが、結構難渋しています。

三味線もフレットのない弦楽器ですから、弦を指で押さえた高さの音が鳴るのはチェロと一緒にです。チェロは弓で弦を弾いたり、指で弦をはじいたりすることで音を出しますが、三味線はパチを楽器本体のパチ皮に叩くような感じで弦をはじいて音を出します。パチをパチ皮に当てると楽器を壊しそうで、今でも腰が引けてしまいます。三味線の本体はお腹に付けたらいけないようで、僕の体型的にも注意が必要です。またパチを持つ右手首の力を抜くようにとも注意されていて、思い起こせばチェロを習い始めのころにも弓を持つ際に同じ注意を受けました。大学オケに入部した頃、先輩に「ほれ、力が入るとるぞー!!」と右手首を捕まれ、ぶらぶらとさせられていたことを思い出し

ます。チェロも三味線も長時間演奏する必要がありますし、手首を痛めないようにしないといけません。三味線の演奏が出来るまでには課題満載で、まだまだ時間がかかりそうです。

三味線の楽譜は何種類かあるようですが、三味線教室では音を押さえる場所に「いろはにほへと」の文字を充てた「いろは譜」を使っています。ト音記号や四分音符が書かれているおなじみの五線譜ではありません。太い弦から細い弦へ、低い音から高い音への順番に「いろはにほへと」を充てており、洋楽器が音の高さで「ドレミファソ、CDEFG」を充てているのとは違う発想です。普段、五線譜に慣れた僕は三味線を弾きながらフルパワーで譜面の脳内変換をしています、時々追いつかず止まってしまいます。これも慣れが必要なようです。

徳島市の阿波踊りは毎年8月12-15日に行われます。ゴールデンウィーク後から街角などでの練習が始まり、本番に向けて徐々に町に活気が増していきます。今のところ僕の力量では次の阿波踊りに間に合う気がしませんが、いつかどこかの連に混ざって「ぞめき」で参加できる日が来れば良いなと思っています。

最近ハマっていること

長崎大学医歯薬学総合研究科 病理学 林 洋子

最近になって、テレビを観なくなった。

昨年ぐらいまで、海外ドラマの「the good wife」にハマっていて、家でずっと観ていた。弁護士のドラマで、出演者の服がかっこよくて、ストーリーもリアルで、面白かった。次のシリーズの「the good fight」まで、3回ぐらいは繰り返して観た。そして、さすがに飽きた。その後、ハマるべきドラマを見つけることができず、ドラマを観なくなった。ついでに、テレビも観なくなった。

テレビでは、だいたいテレビショッピングを観ていた。ジュエリーなどが「9万9,999円！」とか言われると、人によってはイラっとするらしいが、私などは何故か「おー」と感心していた。しかし、これにも飽きてきた。この頃からニュースはあまり観ていなかったが、テレビを観なくなって、いよいよニュースを知る機会がなくなった。

新聞はとっているが、朝ではなく仕事帰りに郵便受けから取ってきて、見出しを眺めるぐらいで、いや、実のところ見出しも眺めないことがほとんどで、ただただ部屋に持ち帰っては、積み重ねている状態だ。我ながらもったいない。でも、わけもなく、新聞はとっていたい、という気持ちがあって、また、生ごみを捨てる時に新聞にくるんで捨てたい、という気持ちから、購読を中止していない。生ごみを包むために新聞をとっているといっても過言ではない。ということで、やっぱりニュースがわからない。

人と話さなければ、これも特に支障はないが、時々飲み会の席などで、誰かとじっくり話したりすると、普通だと知ってい

るべきことがわからないことが知れて、「この人は(?)」と、ちょっと寒い空気を感じることもある。ニュースが理由ではないかもしれない。

ある人に、ラジオを聞いたらいいよ、と言われたので、最近では、英語の勉強を兼ねて、ポッドキャストで、英語のニュースを聞くことにした。英語の勉強を兼ねて、というところがミソで、つまり正確なニュースを知ることがない、ということにおいて、状況は改善されていない。(普通にラジオニュースを聞くのは、つまらな過ぎて、できない。)

最近では、本を読むのはもっぱら電子書籍になった。一時期は紙の本を読もう、という考えもあったが、たまった本を処理するときに、その考えはなくなった。

テレビは見ず、新聞も読まず、結局ずっとスマホを見るか読むか聞かしている。何か少し、健康的に身体を動かすようなことをしたほうがいいと思う。英語のニュースを聞きながら、散歩でもしてみようかな。でも、寒いな。

というわけで、最近ハマっていることは、スマホ、ということになります。

==特集②=====

おしゃべりな毎日の延長に……

順天堂大学医学部附属練馬病院病理診断科 小倉 加奈子

きっかけは、病理学会事務局からのご連絡だった。NHK Eテレの番組『又吉直樹のヘウレーカ』の撮影協力の打診である。おしゃべりなわたしの活動が当時理事長だった深山正久先生のお耳に入り、「おぐらならなんかやれるだろう」ということでお話をいただいたようだ。テレビ番組出演は気が引けたが、生の又吉直樹さんに会ってみたいというミーハーな気持ちに加え、又吉さんに病気の説明をされるドクターが大阪大学病理学教授の仲野徹先生であることを伺い、喜んでお引き受けした。

仲野徹先生のことは、数年前から一方的に存じ上げていた。といっても不束者のおぐらは、研究者としてではなく、読書サイト「honz」で“おもしろい”書評を書く病理学教授としての先生に関心があった。いつかお会いしてみたいなあと思っていたので、念願がなかった。仲野先生の本『こわいもの知らずの病理学講義』は、7万部を超えるベストセラーになっている。番組出演でお会いした当時も、色々な出版社から次作を書いてくださいというオファーがあったようだが、「忙しくて今、書くひまないし、おぐらさん、代わりに書いてみたら？」と本を書く機会までくださった。

思いがけない番組出演を機に色々な幸運が重なり、今年の6月末『おしゃべりながんの図鑑 病理学からみたわかりやすいがんの話』を上梓した。出版直後には、「ヤンデル先生」こと市原真先生もツイッターでつぶやいてくださったりしたおかげで、比較的好評をいただき、3刷1万冊ほどに達した。仲野先生との対談「なかのぐら対談」も本の中で実現した。その後も

大阪出張の際は、美味しいくし焼き屋さんに連れて行っていただいたり、わたしの本を honz で書評していただいたり、仲野先生にはお世話になりっぱなしである。ちなみに書評では、「おぐら先生は、ぼくの東京妻です」と告白もしてくださった。ありがとうございます（笑）こ、これはもしかして下心があるのかな？とか思いました（すみません、調子に乗りすぎました）

自分がまさか本を出版することになるとは夢にも思わなかったが、ふりかえてみると今までのおしゃべりな活動の積み重ねがあったことが良かったのかもしれない。もともと好奇心が旺盛で、医療以外の専門の方の話を聞くのも好きだったこと、そして、二児の子どもの子育て中で教育にも興味があったことなどが重なって、中高生向けの病理診断セミナーを開催してみたり、医療とは全く異なるネットの学校で「編集」のコーチを試してみたり、色々な場所で書いたり話したりする機会が増えていった。

でも、いちばん幸せなことは、職場に恵まれたことである。ボスの松本俊治先生は、一向に論文を書こうとしないおぐらに辛抱強くつきあってくださっている。かわいくて優秀な後輩たちの存在も大きい。様々な症例に対してエキサイティングな議論をとことん交し合ったり、それ以外の楽しいおしゃべりの時間があってこそ、羽を伸ばして色々な活動ができていると思う。本当に感謝の気持ちしかない。これからも好きなひとたちのためにがんばりたい。

== 支部報告 ==

-- 北海道支部 --

北海道支部会報編集委員 田中 敏

学術活動報告

2019 年 9 月 14 日（土）、第 188 回日本病理学会北海道支部学術集会（標準交見会）が高桑康成先生（NTT 東日本札幌病院 臨床検査科）のお世話で、札幌医科大学 教育研究棟 D102 講義室にて行われました。

特別講演

演題：1. 胃癌の予防～*Helicobacter pylori* 除菌とその先へ

2. 人工知能を使ったヒト肺癌細胞像の自動分類

座長：札幌医科大学 病理学第二講座 小山内 誠 先生

演者：藤田医科大学 病理診断科 塚本 徹哉 先生

症例検討は以下の通りです

症例検討

番号 / 発表者（と共同演者） / 発表者の所属 / 症例の年齢 / 症例の性別 / 臓器名（主なもの） / 臨床診断 / 発表者の病理診断

19-07: 真柄和史¹、佐藤昌明¹、高桑康成¹、長谷川 匡² / ¹NTT 東日本札幌病院臨床検査科、²札幌医科大学附属病院病理診断科 / 30 歳代 / 女性 / 皮下組織 / 若年女性の足関節に発生した皮下腫瘍の一例 /

Myxoinflammatoryfibroblastic sarcoma (MIFS)

19-08: 桑原 健¹、高桑恵美²、清水重衣²、岡田宏美²、三橋智子²、山口秀³、茂木洋晃³、松野吉宏² / ¹北海道がんセンター病理診断科、²北海道大学病院病理診断科、³同 脳神経外科 / 40 歳代 / 女性 / 中枢神経 / 前頭蓋底から発生した巨大腫瘍の一例 / Olfactory groove schwannoma

19-09: 大塚拓也¹、牧田啓史¹、岩崎沙理¹、深澤雄一郎^{1,2}、鈴木 昭³、若林健人⁴、鈴木宏明⁴、長谷川 匡⁵、辻 隆裕¹ / ¹市立札幌病院病理診断科、²PCL 札幌病理・細胞診センター、³KKR 札幌医療センター病理診断科、⁴北海道がんセンター、⁵札幌医科大学附属病院病理診断科・病理部 / 70 歳代 / 女性 / 皮下組織 / 診断に難渋した足底皮下腫瘍の一例 /

Phosphaturic mesenchymal tumor (PMT)

19-10: 岩崎沙理¹、佐藤亜樹子²、牧田啓史¹、大塚拓也¹、深澤雄一郎¹、辻隆裕¹ / ¹市立札幌病院病理診断科、²釧路赤十字病院内科 / 50 歳代 / 女性 / 腎臓 / 卵巣癌術後治療中にネフローゼ症候群を呈した症例 /

Bevacizumab による Thrombotic microangiopathy

19-11: 守田玲菜¹、笠井 潔¹、長谷川 匡² / ¹小樽市立病院病理診断科、²札幌医科大学附属病院病理診断科 / 10 歳代 / 男性 / 腎臓 / 小児に発症した腎腫瘍の一例 / Ewing 肉腫ファミリー腫瘍

-- 関東支部 --

関東支部会報編集委員 富田 裕彦

第 84 回日本病理学会関東支部学術集会

日 時：令和元年 9 月 14 日（土曜日）

会 場：杏林大学医学部大学院講堂

世話人：柴原 純二（杏林大学医学部 病理学教室）

【特別講演 1】

演題：希少がん病理診断講習会「成人脳腫瘍」

講師：横尾 英明（群馬大学大学院医学系研究科 病態病理学分野）

【特別講演 2】

演題：病理解剖からみた神経病理—脳神経内科医の立場から

講師：高尾 昌樹

（埼玉医科大学国際医療センター神経内科・脳卒中内科）

座長：千葉 知宏（杏林大学医学部 病理学教室）

【一般演題】

1. SMARCA4 欠失胸部肉腫の一部検例

牧瀬尚大、日向宗利、牛久 綾、牛久哲男

東京大学大学院医学系研究科 人体病理学・病理診断学

座長：坂谷貴司（日本医科大学付属病院 病理診断科）

2. 子宮体部に発生した中腎癌の一例

沼倉里枝¹、笹島ゆう子²、菊地良直¹、藤倉睦生²、神田蘭香³、近藤福雄²、宇崎崎宏¹

¹帝京大学医学部 病理学講座、²帝京大学医学部附属病院 病理診断科、³帝京大学医学部附属病院 産婦人科

座長：坂谷貴司（日本医科大学付属病院 病理診断科）

3. 比較的緩徐な経過を辿った血球貪食像を伴う脾臓組織球系腫瘍の一例
萬 昂士¹、大森嘉彦¹、高山信之²、柴原純二¹

¹杏林大学医学部 病理学教室、²杏林大学医学部付属病院 血液内科

座長：坂谷貴司（日本医科大学付属病院 病理診断科）

4. 子宮頸部原発癌肉腫の2症例

高澤 豊

がん研究会 がん研究所・有明病院 病理部

座長：笹島ゆう子（帝京大学医学部附属病院 病理診断科）

5. B-リンパ芽球性白血病の治療に伴った腫瘍崩壊症候群によって発症したと考えられる心筋石灰化症の一例

橋本浩次^{1,2)}、臼井源紀¹⁾、内堀雄介³⁾、香田弘知¹⁾、増田芳雄¹⁾、臼杵憲祐³⁾、堀内 啓^{1,2,4)}、森川鉄平^{1,2)}

¹⁾NTT 東日本関東病院 病理診断科、²⁾東京医療保健大学 医療保健学部、³⁾NTT 東日本関東病院 血液内科、⁴⁾NTT 東日本関東病院 臨床検査部

座長：笹島ゆう子（帝京大学医学部附属病院 病理診断科）

第 83 回埼玉病理医の会

開催日時：2019 年 10 月 11 日（金） 19 時～21 時

当番世話人：安達 章子

（さいたま赤十字病院・病理診断科）

会場：さいたま赤十字病院 3F 第 10 会議室

参加人数：33 名

開催内容：

講演「非常に稀な乳腺腫瘍」

亀田京橋クリニック乳腺科・病理 乳腺病理部長

さいたま赤十字病院病理診断科 顧問 黒住 昌史

（座長）埼玉共同病院 病理部長 石津 英喜

症例検討

1) 6 歳 10 ヶ月 女児 右頭頂側頭部の脳腫瘍

埼玉県立小児医療センター 病理診断科

中澤 温子

2) 50 歳 女性 脾腫瘍

埼玉医科大学総合医療センター 病理診断科

伊藤 梢絵

3) 60 歳代 男性 膝神経内分泌腫瘍疑い

上尾中央総合病院 病理診断科

横田 亜矢

（座長）安達 章子（さいたま赤十字病院 病理部長）

-- 中部支部

中部支部会報編集委員 浦野 誠

次回学術集会予定

第 23 回日本病理学会中部支部スライドセミナー

テーマ「乳腺」

日 時：2020 年 3 月 14 日

場 所：名古屋医療センター

世話人：西村 理恵子 先生（名古屋医療センター）

第 85 回日本病理学会中部支部交見会

日 時：2020 年 7 月 18 日（土）～19 日（日）

場 所：静岡県立総合病院（静岡市）

世話人：鈴木 誠 先生（静岡県立総合病院）

夏の学校 2020 in 長野

日 時：2020 年 8 月 29 日（土）～30 日（日）

場 所：安曇野スイス村

世話人：塩澤 哲 先生（佐久総合病院佐久医療センター）

上原 剛 先生（信州大学）

第 86 回日本病理学会中部支部交見会

日 時：2020 年 12 月 12 日（土）

場 所：名古屋大学

世話人：成田 道彦 先生（豊田厚生病院）

第 24 回日本病理学会中部支部スライドセミナー

日 時：未定

世話人：細田 和貴 先生（愛知県がんセンター中央病院）

テーマ：未定

-- 近畿支部

近畿支部会報編集委員 西尾 真理

I. 活動報告

a) 日本病理学会近畿支部第 86 回学術集会が下記の内容で開催されました。（検討症例、画像等につきましては近畿支部 HP（<http://jspk.umin.jp/>）にて閲覧可能です。アカウント・パスワードの必要な方は近畿支部事務局（jspk-office@umin.ac.jp）までお尋ね下さい。）

開催日：2019 年 9 月 21 日（土）

会 場：国立循環器病研究センター 講堂

世話人：奈良県立医科大学 大林 千穂 先生

モデレーター：奈良県立医科大学 畠山 金太 先生

テーマ：心血管疾患

症例検討（午前）

950 色素沈着症の一例

清水 祐里 先生、他（神戸市立医療センター中央市民病院）

951 原発不明癌として提出された肝臓針生検症例

加島 志郎 先生、他（兵庫県立淡路医療センター）

952 膝管内病変を伴う浸潤性膝腫瘍の 1 例

森田 剛平 先生、他（奈良県立医科大学）

953 直腸周囲腫瘍と全身リンパ節腫脹をきたした一例

宇野 俊輔 先生、他（京都大学）

954 2 年間にわたって全身性にリンパ節腫大の増悪・改善を反復した一例

児玉 貴之 先生、他（加古川中央市民病院／神戸大学）

955 肺高血圧症の1剖検例

吉田 牧子 先生、他（兵庫県立こども病院）

956 サルコイドーシスが疑われ、外科的肺生検が施行された一症例

清水 重喜 先生、他（近畿大学病院）

教育講演

1. 『心血管病理解剖の要点』

植田 初江 先生（国立循環器病研究センター 病理部）

2. 『心筋生検の見方』

池田 善彦 先生（国立循環器病研究センター 病理部）

3. 『不整脈の病理』

松山 高明 先生（昭和大学 法医学講座）

4. 『冠動脈の病理』

畠山 金太 先生（奈良県立医科大学 病理診断科）

特別講演

『心臓サルコイドーシスの臨床と病理』

廣江 道昭 先生（国立国際医療研究センター 循環器内科）

※ 会場確保は、植田 初江 先生にご尽力頂きました。

- b) 日本病理学会近畿支部第 87 回学術集会在下記の内容で開催されました。

開催日：2019 年 12 月 7 日（土）

会 場：神戸大学医学部 大講義室

世話人：神戸大学 横崎 宏 先生

モデレーター：和歌山県立医科大学 村田 晋一 先生

テーマ：甲状腺・唾液腺疾患の病理

症例検討（午前）

957 甲状腺腫瘍の1例

吉田 牧子 先生、他（兵庫県立こども病院）

958 腹膜に生じた small round cell tumor の一例

桂川 広幸 先生、他（京都大学）

959 肺腺癌の一例（背景肺について）

児玉 貴之 先生、他（加古川中央市民病院／神戸大学）

セッション1 甲状腺の病理診断

特別講演1『甲状腺疾患の病理診断に役立つ分子病理学』

中島 正洋 先生（長崎大学原爆後障害医療研究所 腫瘍診断病理学）

教育講演1『甲状腺病理診断のピットフォール』

林 俊哲 先生（隈病院 病理診断科）

セッション2 唾液腺の病理診断

特別講演2『唾液腺疾患の病理診断に役立つ分子病理学』

長尾 俊孝 先生（東京医科大学 人体病理学分野・病理診断科）

教育講演2『唾液腺病理診断のピットフォール』

浦野 誠 先生（藤田医科大学 病理診断科）

II. 今後の活動予定

- a) 第 88 回学術集会在下記の内容で開催されます。

開催日：2020 年 2 月 22 日（土）

会 場：大阪市立総合医療センターさくらホール

世話人：大阪市立大学 大澤 政彦 先生

モデレーター：大阪市立十三市民病院 福島 裕子 先生

兵庫県立こども病院 吉田 牧子 先生

テーマ：小児脳腫瘍

午前：症例検討

午後：

特別講演

『小児脳腫瘍の病理—JCCG 中央診断の経験を踏まえて—』

（公立富岡総合病院 平戸 純子 先生）

教育講演

『分子病理学時代の小児脳腫瘍の臨床』

（大阪市立総合医療センター／国立がん研究センター 山崎 夏維 先生）

- b) 日本病理学会 希少がん病理診断講習会（近畿支部開催分）が下記の内容で開催されます。第 88 回日本病理学会近畿支部学術集会と同時に開催となります。事前の参加登録は不要です。

開催日：2020 年 2 月 22 日（土）

会 場：大阪市立総合医療センターさくらホール

講 師：田中 祐吉 先生

（神奈川県立こども医療センター 臨床研究所
兼 病理診断科）

『小児腫瘍の病理診断：小児腫瘍には取扱い規約や WHO 分類がない？』

--- 中国四国支部 -----

中国四国支部会報編集委員 佐竹 宣法

A. 開催報告

第 130 回学術集会

日本病理学会中国四国支部第 130 回学術集会在下記の内容で開催されました。発表スライドや投票結果は <http://csp.umin.ne.jp/> でご覧下さい。

開催日：令和元年 10 月 19 日（土）

場 所：岡山大学医学部臨床講義棟 第 1 講義室

世話人：鳥取市立病院 病理診断科・臨床検査科

小林計太先生

特別講演

「病理についての感染制御」

北里大学医学部 微生物学講座 林 俊治 教授

久留米大学医学部 病理学講座

矢野博久 教授

久留米大学病院 病理診断科・病理部

秋葉 純 教授

演題番号 / タイトル / 出題者 (所属) / 出題者診断 / 最多投票診断

S2771 / 縦隔腫瘍 / 白濱つづり (山口大学大学院医学系研究科病理形態学) /

Clear cell carcinoma with sarcomatoid transformation / Clear cell carcinoma

S2772 / 経気管支肺生検 / 寺本典弘 (四国がんセンター病理科) /

Non-neoplastic mesothelial cells / Non-neoplastic mesothelial cells

S2773 / 耳下腺腫瘍 / 三野比花里 (高知大学医学部 5 年) /

Mucoepidermoid carcinoma, low-grade (Warthin-like) /

Lymphadenoma, non-sebaceous

S2774 / 右肺下葉病変 / 齊藤彰久 (呉医療センター・中国がんセンター 病理診断科) / Ciliated muconodular papillary tumor /

Ciliated muconodular papillary tumor

S2775 / 外耳道腫瘍 / 野坂加苗 (鳥取大学医学部器官病理学) /

Synovial metaplasia / Inflammatory polyp

S2776 / 小腸腫瘍の一例 / 尾矢剛志 (徳島大学大学院医歯薬学研究部 疾患病理学) / Malignant lymphoma, plasmablastic /

Malignant lymphoma, plasmablastic

S2777 / 副腎病変 / 木村なちの (香川大学医学部附属病院病理診断科) /

Granulosa cell tumor / Granulosa cell tumor

S2778 / 肺腫瘍 / 西部志穂 (広島市立広島市民病院病理診断科) /

Solitary fibrous tumor, intrapulmonary / Solitary fibrous tumor

S2779 / 右乳腺腫瘍 / 織田麻琴 (広島大学病院病理診断科) /

Phyllodes tumor with periductal stromal sarcoma and DCIS /

Malignant phyllodes tumor

S2780 / 多発胸膜腫瘍の一例 / 上田康雄 (愛媛大学医学部附属病院病理部) / Epithelioid haemangioendothelioma / Malignant mesothelioma

S2781 / 水疱症 / 松野芽衣 (川崎医科大学病理学) /

Bullous amyloidosis / Amyloidosis

S2782 / 転移性腫瘍 / 永喜多敬奈 (岡山医療センター臨床検査科病理) / Chordoma / Metastatic carcinoma

B. 開催予定

第 131 回学術集会

日 時: 2020 (令和 2) 年 2 月 22 日 (土)

世話人: 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

第二病理学 吉野 正 教授

場 所: 岡山大学医学部臨床講義棟 第 1 講義室

-- 九州・沖縄支部 -----

九州沖縄支部会報編集委員 古賀 裕

第 371 回九州・沖縄スライドコンファレンスが下記のように開催されました。

日 時: 2019 年 9 月 14 日 (土) 13:00~17:00

場 所: 久留米大学 筑水会館 イベントホール

世話人: 久留米大学医学部 病理学講座

大島孝一 教授

参加数: 140 名

放射線科との合同カンファレンス「肝疾患の病理」

臨床コメンテーター: 吉満 研吾 教授

(福岡大学医学部放射線科)

病理コメンテーター: 秋葉 純 教授

(久留米大学病院病理診断科・病理部)

第 371 回スライドコンファレンス

臨床診断あるいは発表演題名 / 発表者 / 発表者の所属 / 症例の年齢 / 症例の性別 / 出題者診断 / 投票最多診断

座長: 野口絃嗣 (鹿児島大学)

1. 肝腫瘍 / 甲斐斐太 / 佐賀大学医学部附属病院病理診断科 / 60 代 / 男性 / Hepatocellular carcinoma, scirrhous / Hepatocellular carcinoma, scirrhous
2. 肝腫瘍 / 赤木真由美 / 宮大腫瘍・再生病態 / 60 代 / 男性 / Hepatocellular carcinoma, mod to poorly diff., and bile duct tumor thrombus / Hepatocellular carcinoma
3. 肝腫瘍 / 渡辺次郎一徳永尚之 / 産業医大第二病理一福山医療センター 外科 / 70 代 / 男性 / Combined hepatocellular and cholangiocarcinoma intermediate type / Combined hepatocellular and cholangiocarcinoma

座長: 佐野直樹 (熊本大学)

4. Tumor of the liver / 湯川恭平 / 九州大学形態機能病理 / 50 代 / 女性 / Combined hepatocellular and cholangiocarcinoma / Combined hepatocellular and cholangiocarcinoma
5. 肝腫瘍 / 谷川雅彦 / 久留米大学医学部病理学講座 / 50 代 / 女性 / Intraductal papillary neoplasm of bile duct with associated invasive carcinoma / Intraductal papillary neoplasm of bile duct
6. 肝腫瘍 / 下村麻里一長峯理子 / 熊本赤十字病院 / 50 代 / 男性 / Carcinosarcoma / Hepatocellular carcinoma, sarcomatoid
7. 肝腫瘍 / 林 博之 / 福岡大学医学部病理学講座 / 60 代 / 女性 / Angiomyolipoma / Angiomyolipoma

座長: 黒濱大和 (長崎大学)

8. 肝腫瘍 / 柴田大樹 / 製鉄記念八幡病院 / 70 代 / 女性 / Hepatic angiomyolipoma / Hepatic angiomyolipoma
9. 肝腫瘍 / 渡辺次郎一稲垣優 / 産業医大 2 病理一福山医療センター外科 / 80 代 / 男性 / Sarcomatoid carcinoma / Cholangiocarcinoma
10. 肝腫瘍・腫瘍 / 佐藤勇一郎一中村恵理子 / 宮崎大病院診断科一宮崎大 構造機能 / 70 代 / 男性 / Extranodal marginal zone lymphoma of mucosa associated lymphoid tissue (Hepatic MALToma) / Malignant lymphoma

座長: 相島慎一 (佐賀大学)

11. Hepatic tumor / 毛利太郎 / 九州大学 / 0 歳 7 カ月 / 男性 / (Extrarenal) malignant rhabdoid tumor / Malignant rhabdoid tumor
12. 肝腫瘍 / 三原勇太郎 / 久留米大学病理学講座 / 30 代 / 男性 / β -catenin activated inflammatory hepatocellular adenoma / Focal nodular hyperplasia-like nodule
13. 肝病変 バーチャル / 水落伸治 / 久留米大学病理学講座 / 20 代 / 女性 / Vanishing bile duct syndrome / Drug-induced liver injury

=====

病理専門医部会会報は、関連の各種業務委員会の報告、各支部の活動状況、その他交流のための話題や会員の声などで構成しております。皆様からの原稿も受け付けておりますので、日本病理学会事務局付で、E-mail など御投稿下さい。病理専門医部会会報編集委員会：柴原純二（委員長）、田中 敏（北海道支部）、長谷川剛（東北支部）、富田裕彦（関東支部）、浦野 誠（中部支部）、西尾真理（近畿支部）、佐竹宣法（中国四国支部）、古賀 裕（九州沖縄支部）

=====